



# 「こんにちは 市長です」 1月1日号

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症が社会生活の中心になってしまい、楽しい一年とはいえない日々を過ごしました。この稿は暮れの半ば、政府の言う「勝負の3週間」に書いていますが、結果「勝負に負けた！」と菅総理が言わないことを願っています。新しい年はオリンピックイヤーです。希望の年にしたいものです。

今年の表紙は『群馬クレインサンダーズ』のメンバーたちとです。並外れた大きな選手はブライアン・クウェリ選手（身長2m11cm）で日本が大好き。GK Aに興味を持っていたので、家族が来たときは太田に住んでくれるかもしれません。サンダーズはB2リーグで18連勝、独走中です。今年はB1に昇格できるでしょう。そこで、本拠地を太田に移してもらおうというのが筋書きです。5千人収容できる新体育館を建設します。「そんなにお金をかけて、税金の無駄使い？」という声も聞きますが、そうではない。企業からの寄付30億円、国の補助金10億円、総額54億円で建設します。市費は14億円で、他の市に比べて少ない負担で建設できます。これからのまちづくりは企業との連携、そして得られた有形無形の資産を市民が積極的に活用していく。コロナ禍で財政が厳しい今、まちの元気を創っていくには意識転換が必要です。北の杜学園が4月に開校します。県内で初の義務教育学校です。太田東小、葦川西小跡地も企業との連携型で市民の期待に応えられるよう生まれ変わります。

時代の流れに後れを取るまちもあります。太田市は常に「流れをつくる」まちでいたい。西地区（新田庁舎周辺）の図書館、保健センター、行政センターはいよいよ全体設計に入ります。（12/13記）